

2014年 年 頭 所 感

千厩病院長 吉田 徹



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年は何年です。千厩町の誉れでもある名馬太夫黒のように、この1年間を職員一同で元気に駆け抜けていきたいと思っております。

千厩病院は、昨年40床の回復リハビリ病棟を開設致しました。大東病院から回復リハビリ病棟の機能を移管し、脳血管疾患（主に脳卒中）や、整形外科疾患（主に骨折の術後）の患者さんを対象として磐井病院や市立気仙沼病院などの基幹病院から急性期治療を終了した症例を中心に受入れを始め、順調に入院患者さんは増えております。

国の方針は「病院完結」から「地域完結型の医療」への転換を図っております。すなわちすべての地方病院に各領域の専門医を配置する事は困難であり、地域単位でそれぞれの病院の役割分担を明確にしていく方針を、改めて打ち出したのです。急性期治療を終了した患者さんを、できる限り早く自宅へ戻れるように回復期医療を充実する事が、我々千厩病院スタッフの大きな役割の一つに加えられました。これは今後、全国的に高齢化が進む中、大変重要な役割です。

さらに昨年11月から土曜・祝日のリハビリテーションも開始して365日体制のリハビリテーション提供ができる体制作りに向けて準備中であります。今月からは、理学療法士も一人増員となり、機能訓練室の拡張工事も始まり、スタッフ面でもハード面でも更なる充実を図っております。

新年から当院には新しい診療体制が二つ付加されました。

一つは、東京の村山医療センターのリハビリテーション専門医による月二回の病棟回診の開始です。リハビリテーション専門医を交えた回診により、更に質の高いリハビリ病棟の体制作りを目指しているところであります。

もう一つは、1年間休止していた小児科外来の再開であります。隔週ではありますが、まずは基幹病院と連携をはかりながら小児科医療を再開し、予防接種や検診等も含めて東磐井地区の小児科診療に貢献し、常勤医師の獲得に向けて努力していきたいと考えております。

東磐井地区の高齢化は更に進んでおり、一関市全体の人口は減少していますが、高齢者を中心とした救急外来受診者は増加しております。救急症例への対応は当院の大切な役割です。脳梗塞や脳出血、心筋梗塞など緊急を要する症例は、基幹病院との連携を密にして当院で治療が可能な症例と基幹病院での初期治療が望ましい症例を選別して対応したいと思います。そして基幹病院での治療をお願いした症例は、急性期治療が終了したあとは迅速に当院の回復リハビリ病棟を中心に受入れて、出来る限り短期間で在宅生活に戻れるような医療を提供する事が、私たち千厩病院スタッフの大きな役割のひとつと考えています。

住民の皆様からの支えを、昨年も沢山頂きました。

ボランティアの皆さんには、総合案内のお手伝い、病棟での活動、花壇の整備、また、住民の皆様への医療の啓蒙活動や医局のサポートにまで及んで頂きました。まさに地域の方々と一体となって病院運営をすすめて来た1年間でした。この場をお借りして改めて御礼を申し上げたいと思います。

私たち病院スタッフも、地域の方々の情熱に負けないように、院内だけにとどまらず、出前講演など機会を利用して可能な限り地域に出向きたいと思います。そして、地域の皆様との距離をさらに縮め、相互の理解を深め、東磐井地域の方々の「すべての人々に安らぎと希望」が与えられるよう、職員一同努力して参ります。住民の皆様には、昨年以上に病院に対する自由な意見を頂きながら、今年も皆様に信頼され、頼られる千厩病院を目指して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



トピックス



—地域の皆さんに支えられています—

ミニコンサート第2弾

『患者さん・ご家族・職員の皆さんへ 心を癒す音色をお届けします』ということで去年はブルース・ヒューバナーさんの癒しの尺八を、今年は黒澤博幸さんの津軽三味線のミニコンサートを当院ボランティア団体「朝顔のたね—千厩病院を守り隊—」(会長 遠藤育子さん)の企画で開催されました。



平成25年9月5日(木)午後3時より入院患者さん、ご家族、外来患者さん、職員など約80人が集った中、盛岡市出身の三味線奏者黒澤博幸さんが「津軽じょんから節」「津軽よされ節」「津軽あいや節」など、力強い演奏を披露し、皆さんを元気づけてくださいました。演奏の合間には曲にまつわるさまざまなエピソードなどユーモアを交えながら紹介し、会場にいらした皆さんは共に楽しく過ごし、癒しの音色を感じているようでした。

またこの日は空調設備点検中だったこともあり、演奏者にはご迷惑をおかけしましたが、汗たっぷりの熱演をいただきありがとうございました。

花と風を愛でる会

平成25年9月19日(木)午後3時より

当院中庭で環境づくり委員会主催の「花と風を愛でる会」が開催されました。

毎年、地域のボランティアの皆さんに、院内の花壇を整備していただき、癒しの空間を楽しませて頂いております。そこで当院を支えて頂いているボランティアの皆さんと患者さん、職員との親睦を深める会が開催されました。

この日は暖かな日でしたので入院患者さんも沢山参加して頂き、ボランティアの皆さんと職員がお茶とお菓子を食べて、綺麗に咲いた花を愛でながら、また今年は、参加した皆さんで「花は咲く」を合唱して、ボランティアの方から吉田院長などにお花が渡されるなど、楽しいひと時を過ごしました。地域の皆さんには感謝でいっぱいですが、本当にありがとうございます。



ふれあい慰問の会

平成25年9月25日(水)午後3時から1階待合ホールにおいて、千厩町女性団体連絡協議会主催で当院福祉あすなろ病棟ボランティアの会(会長 藤野宣子さん)の皆さんと「ふれあい慰問の会」が行われました。

佐藤一副院長からお礼の挨拶があり、今年は「千厩愛宕女相撲」を披露していただき、餅が患者さんやご家族に配られ、また、民謡や踊り、体操など、患者さんや家族、職員が見ているだけでなく参加して楽しい時間を過ごしました。



院内文化祭

平成25年10月22日(火)から24日(木)の3日間、当院1階待合ホール付近で文化祭を開催しました。

環境づくり委員会主催で行われ、癒しの空間として、患者さん、ご家族、職員等の作品がたくさん展示されました。どれも力作揃いで職員の以外な趣味を発見したり、作品の出来栄えに感嘆したりと、診療の待ち時間や入院患者さん、ご家族など足を止めてご覧になっていました。

来年も皆さんの作品をお待ちしております。



小羊幼稚園慰問



平成25年11月14日(木)小羊幼稚園(堀 秀子園長)の皆さんが「収穫感謝祭」の果物等を持って、歌とお遊戯を披露してくださいました。また、お手紙とお花を「はやくよくなってください。」などのやさしいことばと一緒に患者さんやご家族、職員へ手渡してくれました。たくさんの元気をいただきました。園児の皆さん、保育士の皆さん、ありがとうございました。

病棟薬剤業務を開始して

千厩病院 薬剤科 吉田 政樹

当院では平成24年5月から病棟薬剤業務を開始しました。

病棟薬剤業務を開始した当初は、一般病棟(3病棟)にそれぞれ専任薬剤師1名、副担当薬剤師1名を配置して病棟薬剤業務を行っていました。平成25年7月に回復期リハビリテーション病棟の開設に伴い、一般病棟(2病棟)に各3名(専任薬剤師1名、副担当薬剤師2名)、回復期リハビリテーション病棟には1名の薬剤師を配置して業務を行っています。

病棟業務の内容として、まず入院した患者さんの情報収集を行います。

入院時には服用中の薬剤を持参していただき、持参した薬剤とお薬手帳などの情報を基に服薬状況等を確認しています。薬の情報収集を行う上で、お薬手帳やお薬の説明書は非常に大事な情報源になります。またカルテなどにより、持参薬、一般薬も含めた常用薬の服薬状況、アレルギー歴および健康食品の摂取量なども確認します。その情報を参考に患者さんへのベッドサイドでの薬剤管理指導を行っています。単に服薬指導するだけではなく、薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間などの変更、飲み合わせや副作用経験の有無など、専門的知識を活用して、薬剤の投与による効果・副作用発現の確認などを行い、総合的に薬物療法を評価して、患者さんが薬による副作用を起こさず、安全に服用していただくための処方設計など薬学的介入を行います。病棟カンファレンスへの参加や回診への同行なども行い、患者情報を収集するとともに薬物療法について提案などをしながら、医師への情報提供だけでなく、看護師などの他職種との様々な情報を共有し、コミュニケーションも積極的に行うことで、チーム医療への参加と連携のとれた業務を行っています。

業務を行う上で一番大切なことは、常に患者さんを中心にした業務を行うことです。

科内にてミーティングや申し送りなどを定期的に行いながら薬物療法の質の向上を目指し、日々取り組んでいます。病棟薬剤業務だけに関わらず、薬剤師としての職能を活かして今後も業務に取り組んでいきたいと思っております。

最後に、お薬手帳やお薬説明書は、現在服用しているお薬の内容や薬の飲み合わせ、重複投与を回避するための様々な情報があります。お薬を安全に服用し、安心して医療の提供がなされるように、通院・入院の際には薬の情報として活用するために持参していただきたいと思っております。

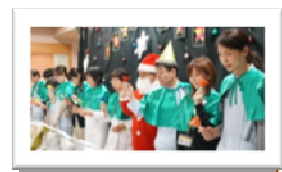
もし薬について聞きたいことがありましたら、薬剤師に気軽にご相談ください。





院内クリスマスコンサート

毎年恒例のクリスマスコンサートを12月18日(水)15時45分から1階待合ホールに特設ステージを設置し開催いたしました。



入院されている患者さんやご家族合わせて約60名が参加し、一足早いクリスマスを楽しみました。会場に飾られた手作りの「夢灯り」とシクラメンやオンシジューム等、たくさんの花の中で演奏が始まりました。今年は初めて2組の団体の参加をいただき、一関女性センターおかりなクラブ美智〜ズ有志の皆さんによりオカリナ演奏が「赤鼻のトナカイ」など4曲を、千厩小学校PTAコーラスの皆さんからは「ホール・ニュー・ワールド」など3曲、そして、当院職員により「ジングルベル」などハンドベル演奏2曲を披露していただきました。次にサンタクロースに扮した高橋事務局長が指揮をとり、今年も吉田院長の伴奏に合わせて当院コーラス部とハンドベルとオカリナクラブの皆さんで復興応援ソングの「花は咲く」を披露、最後には「きよしこの夜」を見に来ていただいた患者さんやご家族の皆さんと大合唱しました。ホールいっぱい歌声を響きわたらせ癒しの時間を過ごしました。



千厩病院地域医療懇談会の開催について

千厩病院では、病院運営の現状を地域の皆様に説明し、ご意見・ご要望などについて話し合いを行うために、平成25年度第2回千厩病院地域医療懇談会を開催いたします。

どなたでも参加できますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

- ★ 日 時 平成26年2月5日(水) 午後2時～
- ★ 会 場 一関市役所 千厩支所 大会議室(2階)
- ★ 問い合わせ 千厩病院事務局 地域医療福祉連携室 電話 0191-53-2101



しっかり手洗いで感染症予防を!

インフルエンザウイルスによる感染が増加しています。

こまめな手洗いを心がけて、健康管理にご留意くださるようお願いいたします。



☆手洗いは、感染予防の基本☆

★手洗い 石けんやハンドソープを使って最低15秒以上、手のひらだけでなく、手の甲、指の間やつめの間、手首までしっかり洗いましょう。洗った後は、清潔なタオルなどで水分を十分にふきとります。

★うがい うがい液を準備(水道水も可)して、最初に口をすすぎます。

うがい液を口に含み上を向かずに正面か下をむいて、クチュクチュと口の中だけをすすぎ、吐き出します。次のうがい液を口に含み、上を向いてガラガラとうがいをします(2~3回)。(いきなりガラガラしないのがコツ!)

感染対策委員会

ただし、千厩病院では全面的な面会制限を実施しています!

当院では現在、面会の制限を実施しており、原則としてお見舞いなどの面会はできません。

抵抗力の弱い入院患者さんへの感染防止対策を強化するうえで必要な措置のため、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

(病院総合案内までお問い合わせ願います。)

千厩病院ホームページアドレス

<http://www.senmaya-hospital.jp>

検索

カチ